

前回大会まで非公式企画として開催されておりました「インフォーマル・セッション」は、今大会より「テーマ別セッション」に名称を改め、正式プログラムとして開催されることになりました。部会メンバー以外の方の積極的なご参加をお待ちしています。

●環境思想部会●

□日 時： 10月18日（土）10時～12時

*他の部会と異なり開始は10時となりますのでご注意ください。

□内 容：

「環境思想とフェティシズム」（仮） 穴見 慎一（立教大学非常勤講師）

「人類史・世界史の構造の新たな理解へ向けて——環境史観、マルクスの歴史観、柄谷の交換史観などを検討しつつ——」尾関 周二（東京農工大学名誉教授）

*尾関報告要旨

本報告は、『環境思想・教育研究』7号で企画された特集「世界史・人類史と環境思想」に掲載された拙稿をより深める視点から行おうと思っている。リーマンショック以降、「資本主義の自壊」や「資本主義の終焉」などが非マルクス主義者からも語られるようになった。最近も米国で、ピケティの『21世紀の資本論』が大きな話題・論争になっている。われわれも資本主義を乗り越え、新たな将来社会を展望する議論を改めてする必要がある。そのためには、環境史学などの諸歴史学をはじめ人類学・考古学などの最新の成果をもとに人類史・世界史の新たな見方を摂取しつつ、新たな視座を構想してみる必要があろう。そして、バージョンアップされた福祉国家の議論もそういった視座のなかに位置づけて考えることも重要と思われる。

◆関心をもたれた方は、上記の拙稿をあらかじめ一読しておいてもらえれば有意義な議論ができると思います。拙稿を含め特集論文の入手に関しては、以下の布施さんにご連絡ください。『環境思想・教育研究』編集作業部会責任者、布施元、メールアドレス：f.moto@mx5.ttcn.ne.jp

□責任者：澤 佳成（東京農工大学）

●北欧社会研究部会●

□日 時： 10月18日（土）9時30分～12時

□内 容： 「北欧型福祉国家とボランティア社会活動」（小池直人）の報告討議、その他の情報交換。

□責任者： 小池 直人（名古屋大学）